

開催報告

NPO法人 日本医師事務作業補助研究会 北海道支部

第2回 病院管理者・医師のための医師事務作業補助者マネジメントセミナー
～医師事務作業補助者導入後の活用の可能性を考える～

日 時：平成28年6月18日（土）

14：00～16：30

場 所：札幌市中央区北1条東1丁目2-5

カレスビル8F カレス8ホール

参加者数：37名

管理者である医師・看護部などご参加いただきました。

研究会の当初は医師事務作業補助者をどのように導入するか？というテーマに関心が多く集められておりましたが、どのように活用・教育を行うのか、他院での役割等を知りたいという方が多くなる傾向にあります。

今回はその声にお応えできるテーマ開催となりました。

I 講演：当院での医師事務作業補助者の役割

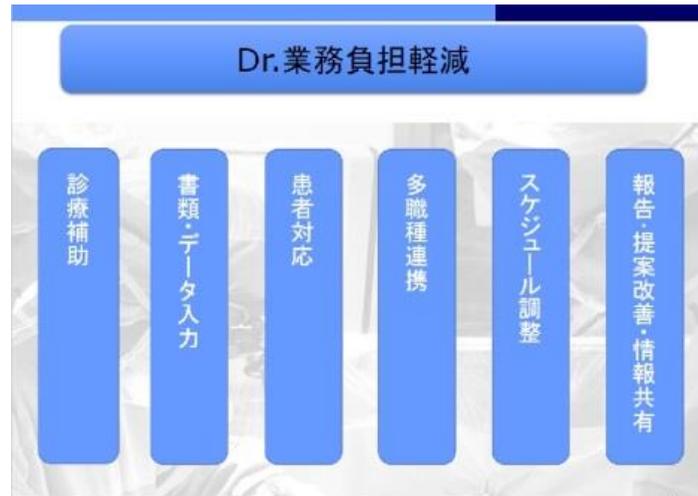
社会医療法人孝仁会 心臓血管センター北海道大野病院

メディカルクラーク科 課長 渋谷 由美子

18名の医師事務作業補助者を配置され

外来、病棟、ICU、データ管理、秘書業務での活躍方法等を細分化し紹介

多くの業務があることが明確に理解できました。



II 講演：医師事務作業補助者の費用対効果を探る

社会医療法人孝仁会 心臓血管センター北海道大野病院
副院長 大川 洋平 先生

医師事務作業補助者の社会的導入の経緯から
体制加算との費用対効果について
《導入人件費・加算点数・医師時間外費用》を
データ化し経営的視点から講演していただきました。

III 講演：医師事務作業補助者配置による医業収益の向上

北海道医療勤務改善支援センター
事務局長 小山田 剛 先生
医師事務作業補助者のセミナーや北海道医療勤務
改善支援センターを活用した教育方法、導入効果、
今後の医師事務作業補助者に対する大きな社会的期待
や要求など講演をしていただきました

IV ディスカッション：医師事務作業補助者導入後の活用の可能性を考える

司会：社会医療法人社団カレスサポロ 時計台記念病院
循環器センター長 佐藤 勝彦 先生
医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院
医療秘書課 課長代理 南木 由美

質問が多く上がり、悩みが多くあることが感じとれました。
皆様の関心の多くは実務者の教育方法、担当科目や担当部署への
ローテーション、業務をしながら教育を行う施設が
多く見られました。参加者の皆様は終了後にも講演者や司会者への質問をしていただき、関心の高さが伺えました。

医師事務作業補助者の定義

「医師の指示で事務作業の補助を行う
専従の者」

- 以下は医師事務作業補助者の業務ではない
 - 医師以外の職種の下に行う業務
 - 診療報酬の請求事務（DPCコーディングを含む）
 - 窓口・受付業務
 - 医療機関の経営、運営のためのデータ収集業務
 - 看護業務の補助
 - 物品運搬業務

内容

1. 医療分野の「雇用の質」向上プロジェクト
ー北海道医療勤務環境改善支援センターのご紹介ー
2. 「医師事務作業補助者」とは
3. 「医師事務作業補助者」の業務内容
4. 「医師事務作業補助者」の配置による収支
5. 「医師事務作業補助者」の配置による業務改善
6. 失敗しない「医師事務作業補助者」の採用・配置
7. 「医師事務作業補助者」配置の補助金・助成金
8. 「医師事務作業補助者」の現状と課題

